

# 2022年3月期 第1四半期決算の概要

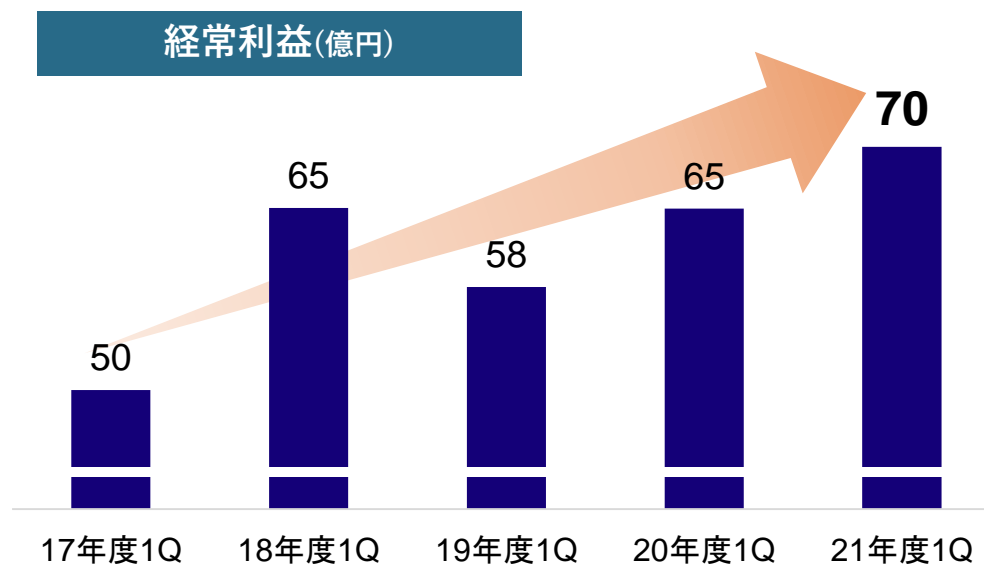
2021年8月6日

みずほリース株式会社

MIZUHO

# 2021年度第1四半期の総括

コロナ禍での厳しい事業環境の中、  
経常利益は着実に増加

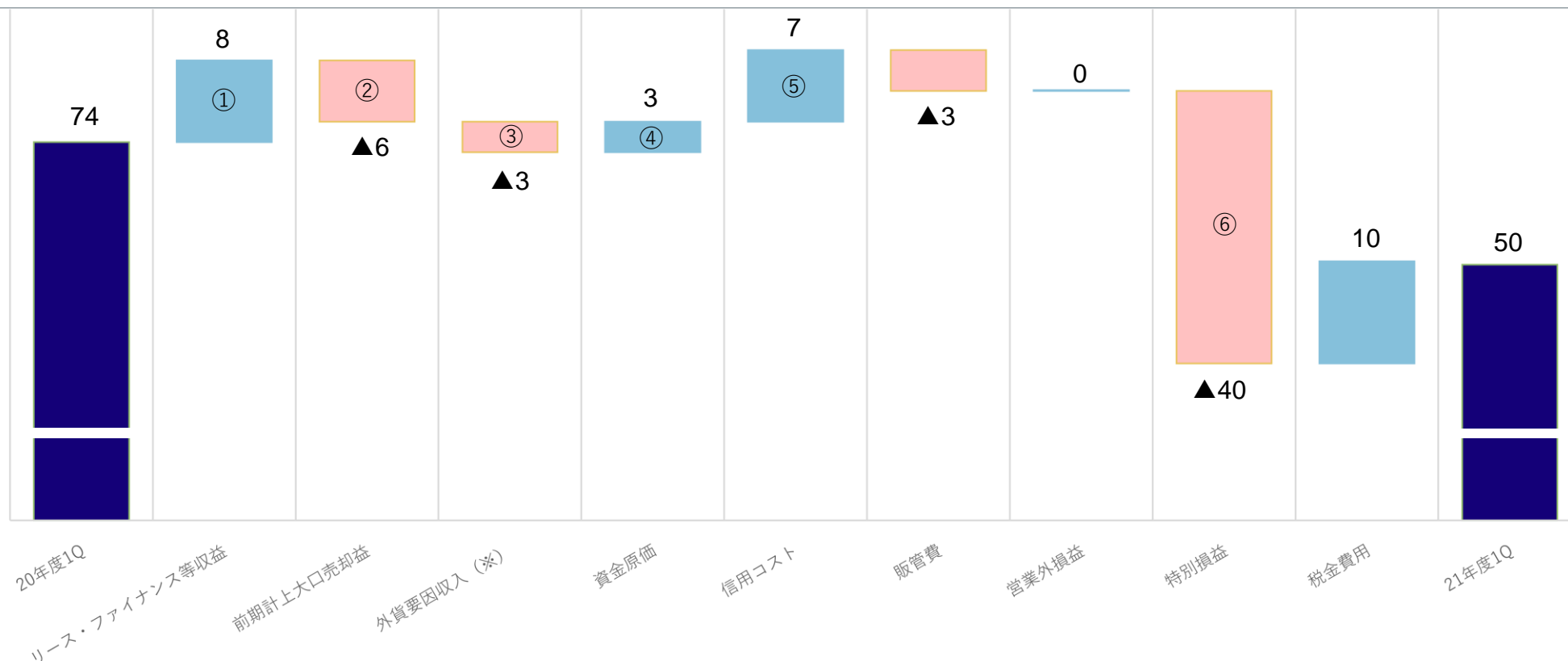


各段階利益は堅調に推移

各段階利益の状況(億円)

	20年度 1Q実績	21年度 1Q実績	増減額
売上高	1,154	<b>1,183</b>	+29
営業利益	59	<b>64</b>	+5
経常利益	65	<b>70</b>	+5
(特別利益)	(40)	<b>(0)</b>	▲40
親会社株主に帰属 する四半期純利益	74	<b>50</b>	▲24

# 親会社株主に帰属する四半期純利益の増減要因



①リース・ファイナンス等収益	物流施設等の不動産を対象としたファイナンスの収益増加が牽引
②前期計上大口売却益	前年同期に営業投資有価証券の売却に伴う収益分配及び不動産ブリッジ案件の売却益が発生
③外貨要因収入(※)	外貨金利の低下等によるもの
④資金原価	外貨調達金利の低下等が要因
⑤信用コスト	信用コストは船舶案件の引当戻入が寄与
⑥特別損益	前年同期に特別利益(投資有価証券売却益)を計上し、減少

※ 概算値

# 決算概要

(億円)	19年度 1Q	20年度 1Q	21年度 1Q	増減額	増減率
売上高	1,432	1,154	1,183	+29	+3%
差引利益	145	146	145	▲1	▲1%
資金原価	26	22	19	▲3	▲13%
売上総利益	119	124	126	+2	+2%
信用コスト	2	3	▲4	▲7	-
営業利益	55	59	64	+5	+8%
営業外収益	5	9	9	▲0	▲4%
経常利益	58	65	70	+5	+8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	74	50	▲24	▲33%
差引利益率	2.87%	2.75%	2.50%	▲0.25pt	-

前年同期の大口売却益発生分及び外貨要因による減少を貸付収益等の増加により概ね打ち返し

資金原価は外貨要因で減少

各段階利益は着実に増加

大口売却益・外貨要因の影響等により差引利益率は低下

(注) 差引利益率 = 差引利益 (年換算値) ÷ 営業資産 (期首期末平均残高)

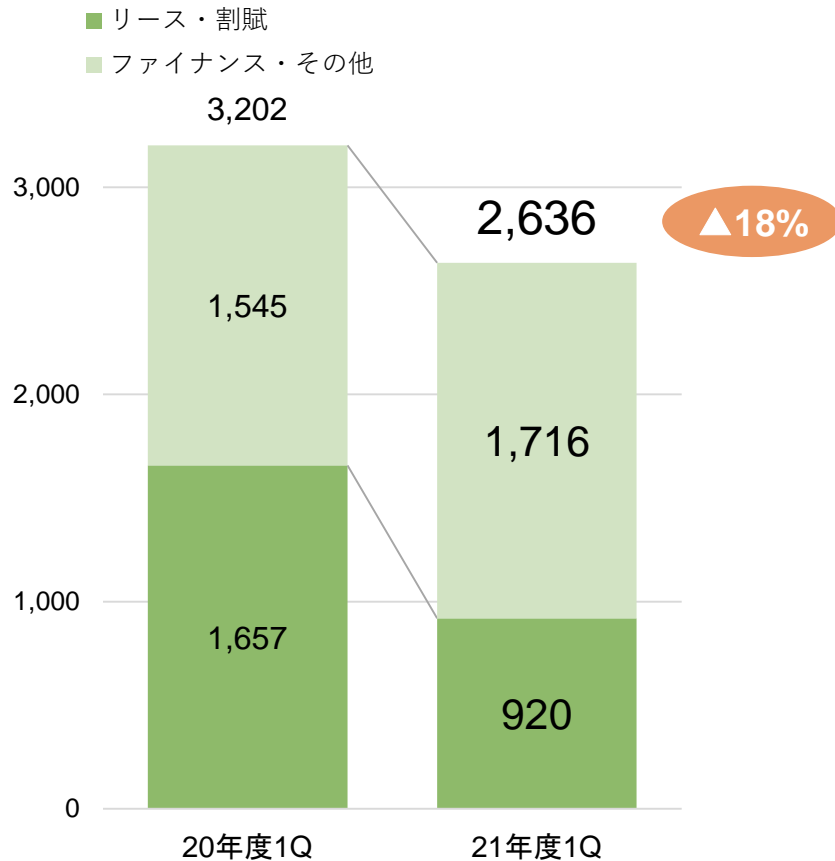
(億円)	20/3末	21/3末	21/6末	増減額	増減率
営業資産残高	20,903	23,224	23,268	+45	+0%
純資産	1,958	2,109	2,187	+78	+4%
自己資本比率	7.9%	7.7%	8.0%	+0.3pt	-

# 事業の状況

## 契約実行高

契約実行高は前年同期比▲18%減少

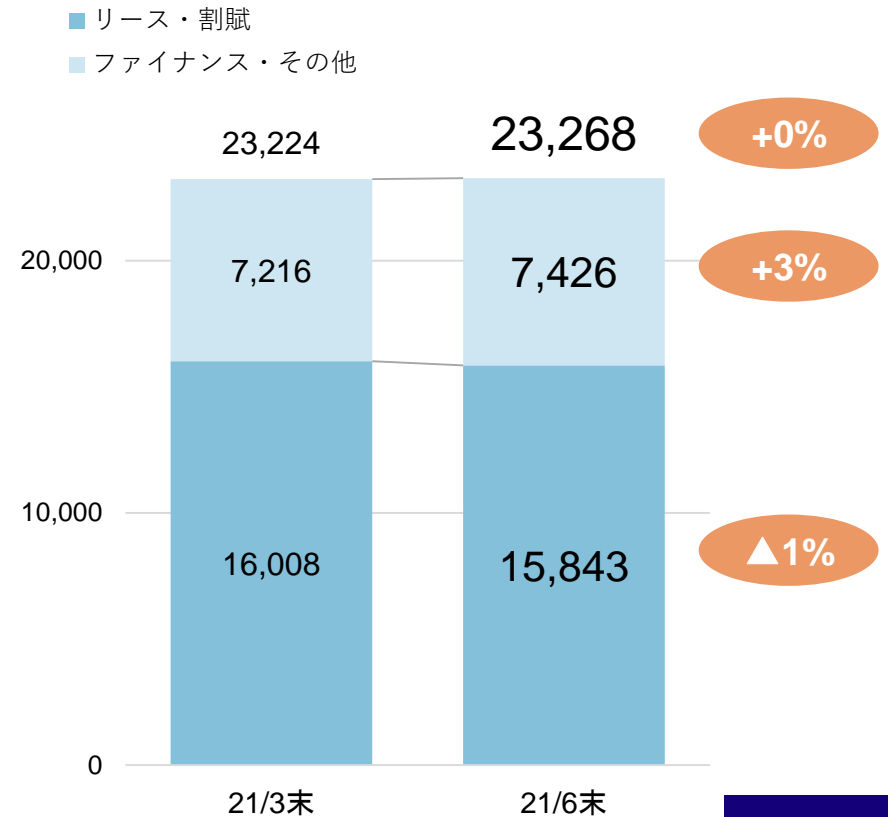
- リース・割賦の減少は、お客様の設備投資の後ずれ及び前年同期での大口案件実行が主因
- ファイナンスは、短期の商流ファイナンスが伸長



## 営業資産残高

営業資産残高は前年度末比横ばい

- ファイナンスは、商流ファイナンスが寄与し増加



# 契約実行高／リース・割賦セグメント

## 機種別契約実行高

(億円)	19年度 1Q	20年度 1Q	21年度 1Q	増減額	増減率	
不動産	441	332	233	▲99	▲30%	商業施設・オフィス等を対象としたブリッジ案件が中心
情報通信機器	251	680	204	▲476	▲70%	通信業者の設備投資の後ずれ及び前年同期に大口案件実行
産業・工作機械	611	283	155	▲128	▲45%	メーカーの設備投資の後ずれが主因
輸送用機器	234	104	95	▲9	▲9%	
土木建設機械	79	61	59	▲2	▲4%	
商業・サービス業用機器	72	58	37	▲21	▲37%	
医療機器	54	27	28	+1	+2%	
その他	81	112	109	▲3	▲3%	
<b>合計</b>	<b>1,823</b>	<b>1,657</b>	<b>920</b>	<b>▲737</b>	<b>▲45%</b>	

# 契約実行高／ファイナンスセグメント

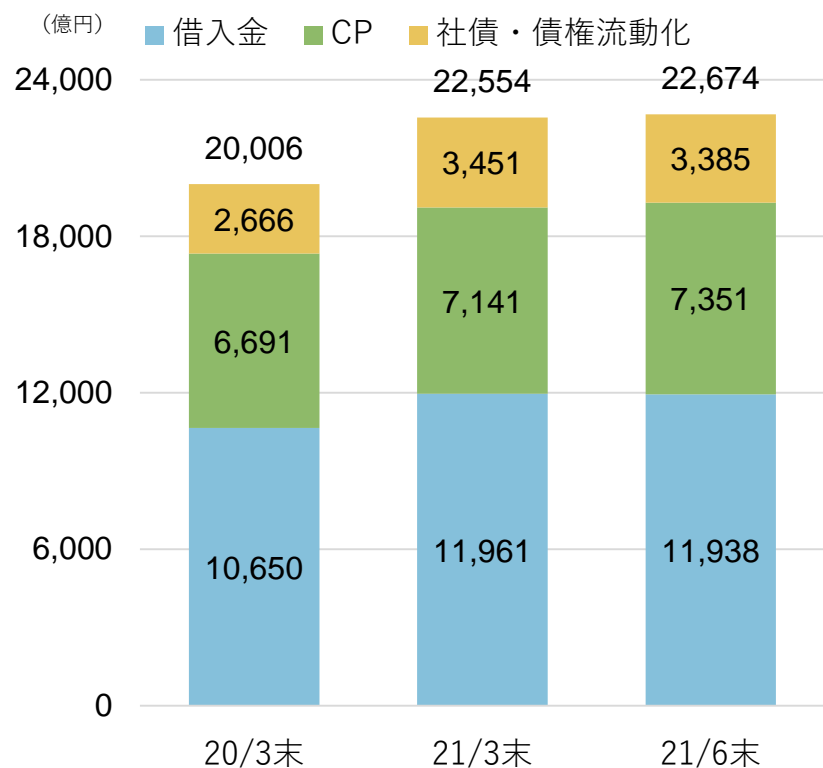
## 契約実行高

(億円)	19年度 1Q	20年度 1Q	21年度 1Q	増減額	増減率	
商流ファイナンス・ 融資等	1,423	1,312	1,614	+302	+23%	短期の商流ファイナンスが増加
不動産	88	176	90	▲86	▲49%	物流施設を対象としたファイナンス が減少
船舶	28	53	11	▲42	▲79%	
航空機	11	3	0	▲3	▲100%	
合計	1,549	1,545	1,716	+171	+11%	

# 資金調達等の状況

- 外貨調達金利の低下等により、資金原価は減少し、資金原価率も低下

## 有利子負債残高



## 資金原価（率）

(億円)

	19年度 1Q	20年度 1Q	21年度 1Q
資金原価	26	22	19
資金原価率	0.51%	0.41%	0.33%

(注) 資金原価率 = 資金原価（年換算値） ÷ 営業資産（期首期末平均残高）

## 外部格付の状況

格付機関	格付	
R&I	長期	A
	短期	a-1
JCR	長期	A+
	短期	-



## 業績予想及び配当

- 第1四半期の各利益は通期予想に対して堅調に進捗
  - 先行きについては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を引き続き注視
- 年間配当金は前年度比18円増額の110円を予定

(億円)	2020年度 (実績) ①	2021年度 (予想) ②		増減額 ②-①	増減率 ②/①	
		1Q実績	進捗率			
売上高	4,979	5,500	1,183	22%	+521	+10%
営業利益	260	300	64	21%	+40	+16%
経常利益	275	330	70	21%	+55	+20%
親会社株主に帰属する 当期純利益	218	230	50	22%	+12	+6%
年間配当金	92円	110円	+18円			
中間配当金	40円	55円	+15円			
期末配当金	52円	55円	+3円			
配当性向	20.4%	23.1%	+2.7pt			

# Appendix

# 主なトピックス（当社グループの取り組み事例）

4  
月  
〜  
6  
月  
（  
第  
1  
四  
半  
期  
）

## みずほキャピタル株式会社と業務提携

- 2021年5月、ベンチャーキャピタルであるみずほキャピタルの株式15.01%を取得し、業務提携契約を締結
- 当該業務提携により、イノベーションに取り組むスタートアップ企業へのリスクマネー供給や投資先の育成支援における協業等を実施し、当社とみずほキャピタル両社の事業の成長及び企業価値向上の実現を目指します

## みずほSDGsリースの取り扱い開始

- みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社と協働し、SDGs達成に貢献できる「みずほSDGsリース」の取り扱いを開始
- リース・割賦等に取り組むお客様に、寄付をする機会、SDGsに係る集合WEBセミナー、SDGsに係る個別コンサルティングを提供します

## 水力発電事業への参画

- JNC株式会社グループの運営する水力発電設備について、従量課金型のリースを活用し、当該発電事業の売電収入に応じたプロジェクト投資型リースを実行
- 当社として初の国内水力発電事業への参画し、「脱炭素型社会の実現」に貢献することで、持続可能な社会の実現を目指します

## 日鉄興和不動産株式会社と業務提携

- 2021年8月、当社グループは不動産総合ディベロッパーである日鉄興和不動産の株式10.16%を取得する株式譲渡契約を締結するとともに業務提携契約を締結
- 当該業務提携により、不動産総合ディベロッパー事業とリース事業の融合による夫々のビジネス領域の拡大実現を目指します

8  
月

# ニーズをつなぎ、未来を創る

お問い合わせ先

**みずほリース株式会社**

経営企画部

コーポレートコミュニケーション室

TEL:03-5253-6540

FAX:03-5253-6539

本資料には現時点で入手している情報に基づき当社が判断した将来の予測数値が含まれておりますが、一定のリスクや不確実性が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
将来に関する事項については様々な要因により変動することがございますので、ご留意下さい。

**MIZUHO**